

平成9年6月18日

豊島区南長崎在住の野村万蔵さん人間国宝に

18日、加藤一敏豊島区長は、今月6日に重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された豊島区南長崎在住の狂言師、野村万蔵さん宅を訪れた。

野村万蔵さんは、昭和5年に六世野村万蔵（人間国宝）の長男として豊島区巣鴨一丁目に生まれた。4歳のとき「靱猿」で猿を演じたのが初舞台。以来六十余年、古典芸能の伝承に尽力してきた。最近では、後進の育成に力を注ぐ一方で、海外公演にも意欲的に取り組んでいる。平成6年4月に紫綬褒章受章。

「若い時に激しく動くものをうんと勉強し、だんだんとじっとしているという演技が身に付いてくるんです。動かないでじっとしているということにどういう意味があるのか、それを、まだ体の動けるうちに発見することが大切です。」と自らの体験を振り返る。そして「このような若い時の身の処し方こそ、歳をとってからいきってくるんです。」と若い世代の活躍に期待を寄せる。

なお、同日午後、豊島区立公会堂で開催された豊島区立小学校教育研究会の創立50周年記念式典で、「道を貫く」と題し野村さんの講演がおこなわれた。また、それに引き続き次男野村良介さんらによる狂言「仏師」が演じられた。

詳細 豊島区広報課